

パロキセチン錠「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ



このおくすりの効果は？

- 飲みはじめは、すぐに効果はあらわれませんが、飲み続けると、脳内の神経伝達グスムーズになり、抑うつ気分や不安を和らげます。
- 飲むのを終了する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。自分の判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりすると、めまい・汗をかく・吐き気などの症状があらわれることがあります。医師・薬剤師の指示どおりに飲んでください。

このおくすりを使用する前に確認することは？

- 18歳未満の大うつ病性障害のある人がこのおくすりを飲んだ場合、有効性が確認できなかったとの報告や、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。18歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

このおくすりの使い方は？

1. 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

錠 mg を 1日1回 夕食後 に 1回 錠

2. コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

もし、飲み忘れたら!!

気づいた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分をお飲みください。

決して2回分を一度に飲まないでください。

このおくすりの**使用中に気をつけることは？**

- 吐き気、眠気、口の渇き、めまい、便秘、食欲不振などの症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。
- 眠気・めまいなどの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する時は、十分に注意してください。これらの症状は、飲みはじめに多く見られます。
- 授乳は避けてください。妊娠している可能性のある方は医師に相談してください。
- このおくすりを飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方に伝えるようにしてください。
- 不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- **下記のような症状があらわれた場合は、使用をやめてすぐに医師の診察を受けてください。**
 - ・ 不安、興奮、手足の震え<セロトニン症候群>
 - ・ 筋肉のこわばり、発汗、急激な発熱<悪性症候群>
 - ・ 考えがまとまらない、現実には存在しない物が見える、意識がうすれる<錯乱・幻覚・せん妄・痙攣>
 - ・ まぶたや眼の充血、結膜のただれ、唇や口内のただれ、全身の赤い斑点と水泡<中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑>
 - ・ けいれん、意識の低下<抗利尿ホルモン不適合分泌症候群>
 - ・ 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜が黄色くなる<重篤な肝機能障害>
 - ・ 筋肉痛、脱力感、赤褐色尿<横紋筋融解症>
 - ・ 全身倦怠感、発熱、鼻・皮下出血<汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少>
- 上記以外でも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。

